

- 1 単元名：文法の窓3 単語の分類
- 2 本時のねらい：『10品詞の特徴を考え、正しく分類することができる』
- 3 本時の学習過程（第2時／全3時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・動詞、形容詞、形容動詞を知る。プリントに記入していく。「い」で終わる単語すべてが形容詞ではないことに注目させる。なぜ、形容詞に分類できないのか考える。言い切りがウ段、と「い」の違いを確認する。 ・連体詞、副詞を知る。連体修飾語と連用修飾語を確認する。大半の生徒は忘れていると考えられる。違いを確認し、単語を選び、プリントに記入する。 	
<p>めあて：10品詞の特徴を知り、正しく分類することができる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で品詞分類表を見る。 ・プリントや分類表を見ながら単語を分ける。その1 	
<p>山場：単語には、自立語・付属語・活用する単語・活用しない単語があるので、確かめてから分けよう。</p> <p>名詞は、一番に見つけた方がいい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントや分類表を見ながら単語を分ける。その2 	<ul style="list-style-type: none"> ・少し難易度が上がるため、理由を考えながら解くようにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあての評価></p> <p>特徴を当てはめながら分類している。</p> </div>
<p><振り返り・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語には、何品詞ありますか。 ・何と何ですか。 ・次はワークの仕上げ問題をします。 	